

風の街 大沢野への想い

私を育んだのは、大沢野の自然と人。
ふるさとの風景は少しずつ変わっていくけれど、これからもたくさんの子供たちが大沢野で生まれ育ち、美しい神通峡・大沢野をふるさととして誇れるよう、皆さんの声を届けるお手伝いをさせていただきます！

大沢野出身
木地ともみ

新たな一歩を踏み出します！

曾

祖母の畑でアゲハ蝶を追いかけて、近くの山には、春はスミレが咲き、秋はカラスウリが実る。

冬は真っ白な雪に覆われる猿倉山でスキーを楽しむ。

木地薬店に訪れたお客さんのおしゃべり。商店街の七夕の夜店。

子供の頃の記憶は鮮やかに、私の中に息づいています。

大沢野で出会った人と自然への感謝の気持ちを、今までも、これからも、活動の原動力としていきます。ふるさと大沢野がこれからも発展し、人々がいつまでも豊かに安心して暮らせるように、市政に取り組みたいと思っています。

「どうして風の街なの？」

富山県に南より風が吹き込む時、南に連なる山々をふきおろしながら神通峡に風が集まるようにして吹き抜けます。

大沢野は、南風の通り道。

日本海を低気圧が発達しながら進む春や、台風が日本海を進む秋に吹くことが多く、立春から春分までの間に吹くと「春一番」になることも。

地域特有の風は「局地風」といって、大沢野では「神通おろし」と呼ばれたりもしています。

大沢野 -Osawano-
お天気ワンポイント